

震災がれき

津市受け入れ「難しい」

市議会
一般質問

焼却灰処理業者も難色

【津】津市議会第一回定例会は十二日開き、大野寛

(津和会)、中村勝春(県都クラブ)、青山昇武(公明党議員団)、倉田寛次(市民クラブ)、藤本智子

(日本共産党津市議団)、

八太正年(自由民主党市議団)の六市議が一般質問に

立った。青山市議は東日本大震災被災地のがれきの受け入れについて質問。前葉泰幸市長は「安全性などを考慮すると難しいと思っている」などと答えた。

前葉市長は「がれきの安全性について、市民に説明できる確信を持つ状況に至っていない」と説明。また現時点で、市が委託する焼却灰処理会社三社からも、がれき焼却灰の受け入れを可能とする返答がないとい

い、「今のところ難しいと
思っている」と述べた。

市は昨年四月、環境省の調査に、一日当たり十六ト
のがれきの焼却処理が可能

と回答。同省によると、八
日現在で岩手、宮城、福島

の三県のがれき処理量は全
体の6・4%にとどまってい
る。政府は岩手、宮城両

青山市議の質問に答弁する前葉市長。津市議会本
会議場で



県のがれきを被災地以外で、府県に要請する方針を示し
処理する広域処理を全都道一で行っている。